

ぼくのから

寺津小四年荒川結史

が	ぼ	ば	ち	と	「	ふ	い	て	氣	自	す	体	手	し	て	の	と	「
下	く	ん	だ	、	メ	り	五	か	で	信	つ	で	な	合	い	お	父	結
手	見	を	。	す	ー	返	月	ら	い	が	出	覚	わ	の	た	父	史	史
く	る	つ	せ	き	ン	り	に	、	く	つ	て	え	ざ	合	い	さ	道	、
そ	と	と	つ	を	」	返	や	そ	る	い	き	る	を	の	た	ん	場	元
じ	た	、	い	ね	。	り	に	こ	相	け	て	ま	自	あ	。	お	先	氣
や	い	は	一	ら	。	ざ	た	こ	手	る	き	で	な	と	は	母	生	よ
ん	本	た	本	つ	。	ま	し	を	に	よ	て	、	わ	は	、	さ	や	く
と	が	た	だ	面	。	に	合	ね	、	に	、	勝	ざ	練	、	ん	ん	。
思	上	と	と	を	。	、	合	、	打	な	つ	つ	り	習	。	父	た	。
つ	れ	が	思	打	。	、	。	、	ち	っ	っ	こ	返	で	。	さ	ち	。
て	た	つ	つ	つ	。	、	。	、	終	、	、	と	す	て	。	ん	に	え
い	は	て	た	た	。	、	。	、	、	、	、	が	、	つ	。	と	も	ん
た	す	い	。	で	今	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	は	、	。
。	。	な	も	の	い	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	ん	い	。
し	か	か	も	の	い	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	せ	も	。
合	つ	つ	、	い	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	。
が	た	し	、	い	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	。
終	ば	ば	、	い	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	。
わ	ん	ん	。	ん	打	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	。

た	く	声	ぼ	負	練	な	声	し	一	ん	声	気	え	と	い	ぜ	「	も	つ
。	、	だ	け	け	習	ら	が	て	本	だ	が	、	す	、	か	つ	あ	ら	た
	か	れ	か	の	を	な	小	い	に	。	だ	剣	に	も	げ	た	そ	い	あ
	ら	れ	ど	か	せ	な	さ	た	は	わ	大	、	に	の	ん	い	こ	ら	と
	を	ど	の	か	な	ん	か	つ	な	ざ	切	体	だ	も	げ	た	こ	こ	、
	や	、	の	ら	な	ん	か	聞	か	が	だ	「	ま	す	ん	い	こ	ら	に
	ぶ	こ	せ	ぜ	く	こ	こ	り	な	が	と	と	つ	ご	ろ	一	打	打	見
	ら	の	い	つ	が	と	え	な	い	決	い	い	て	く	。	本	つ	つ	て
	な	ま	で	た	ん	が	る	の	。	ま	つ	つ	立	お	。	だ	だ	だ	いた
	い	ま	ど	い	ば	、	ん	に	自	。	も	つ	つ	こ	。	た	ぞ	た	お
	と	だ	う	に	っ	と	ん	に	分	。	て	も	て	ら	れ	。	き	お	父
	い	と	し	い	た	て	ん	、	も	も	て	、	て	れ	た	。	に	に	さ
	け	強	て	や	っ	も	声	て	分	は	も	、	、	い	た	。	声	に	ん
	な	く	も	だ	た	く	の	い	で	は	声	氣	た	れ	た	。	を	ら	に
	い	な	出	。	今	、	せ	い	た	、	が	持	。	は	ぼ	。	出	し	ア
	。	な	せ	。	ま	の	や	る	た	、	ん	ち	け	く	く	て	ん	て	ド
	と	な	な	。	で	せ	し	人	い	大	出	と	ん	は	は	だ	だ	い	バ
	、	い	か	つ	は	つ	か	た	ち	き	て	き	道	、	何	よ	よ	た	イ
	思	。	つ	早	、	で	に	は	に	一	声	じ	で	も	言	い	、	ら	ス
										本	を	ゆ	は	、					を
										に	と	つ	、	「					
										は	い	と	」						

か	か	や	た	一	「	「	と	く	「	と	「	「	ら	道	の	初	ら	い
つ	に	つ	。°	文	や	や	言	出	お	聞	お	父	、	場	練	め	、	き
て	ぐ	た	「	字	あ	あ	わ	す	な	い	父	さ	お	の	習	の	だ	な
き	つ	か	や	目	」°	。°	れ	ん	か	て	さ	ん	、	場	習	ほ	ん	り
た	と	分	」	を	」°	。°	た	だ	に	み	、	大	と	道	習	く	だ	大
。°	力	か	と	大	」°	。°	。	。	力	る	き	き	二	の	の	少	は	き
初	を	ら	い	き	く	く	。	入	れ	と	な	な	人	、	練	習	、	だ
め	入	な	う	出	す	。	。	れ	て	、	声	声	で	、	習	で	し	ん
の	れ	い	た	練	練	た	一	入	れ	、	つ	つ	や	、	習	は	る	な
一	と	。	つ	習	習	一	文	れ	て	、	て	て	る	、	習	、	べ	く
文	、	練	た	練	練	一	字	、	、	、	ど	ど	自	、	習	、	ル	し
字	声	す	文	習	習	文	を	、	、	、	う	う	主	、	習	、	ル	て
が	が	る	字	を	を	の	何	、	、	、	や	や	練	、	習	、	上	い
大	出	う	の	回	回	の	回	も	、	、	つ	つ	習	、	習	、	げ	は
き	く	ち	練	も	も	。	。	く	、	、	て	て	で	、	習	、	る	す
く	出	に	習	く	く	、	。	り	、	、	出	出	声	、	習	、	よ	く
出	せ	、	を	り	り	、	。	返	、	、	、	、	を	、	習	、	ら	く
せ	る	が	何	返	返	、	。	し	、	、	、	、	、	、	習	、	い	作
る	と	が	回	し	し	、	。		、	、	、	、	、	、	習	、	。	戦
													か	、	習	、	。	に
													か	、	習	、	。	に
													か	、	習	、	。	に
													か	、	習	、	。	に
													か	、	習	、	。	に

ぼくのからがやぶれたらんだ」と思つた。	きくなつた。お父さんが強んとお母さんつた。	と思つた。声を出すと打勝三引き分けた。	声を出されたりの練習で、お母さんつた。	二し合中、九勝三引き分けた。	と仕事で見に来られた。	「結史、すごい声が聞こえて、	と、仕事で見に来られた。	「結史、お母さん	六月、ひさしぶりの練習じ合。	にだん大好きな声が聞こえて、	それからは、道場でも自主練習のときのよ	とお父さん	「結史、最近大きい声が出て、	していくと、	やつたぞ」と思つた。	つたけれど、声が大きくな	そのあとは自然に大きくな
ぼくのからがやぶれたらんだ」と思つた。	きくなつた。お父さんが強んとお母さんつた。	と思つた。声を出すと打勝三引き分けた。	声を出されたりの練習で、お母さんつた。	二し合中、九勝三引き分けた。	と仕事で見に来られた。	「結史、すごい声が聞こえて、	と、仕事で見に来られた。	「結史、お母さん	六月、ひさしぶりの練習じ合。	にだん大好きな声が聞こえて、	それからは、道場でも自主練習のときのよ	とお父さん	「結史、最近大きい声が出て、	していくと、	やつたぞ」と思つた。	つたけれど、声が大きくな	そのあとは自然に大きくな
ぼくのからがやぶれたらんだ」と思つた。	きくなつた。お父さんが強んとお母さんつた。	と思つた。声を出すと打勝三引き分けた。	声を出されたりの練習で、お母さんつた。	二し合中、九勝三引き分けた。	と仕事で見に来られた。	「結史、すごい声が聞こえて、	と、仕事で見に来られた。	「結史、お母さん	六月、ひさしぶりの練習じ合。	にだん大好きな声が聞こえて、	それからは、道場でも自主練習のときのよ	とお父さん	「結史、最近大きい声が出て、	していくと、	やつたぞ」と思つた。	つたけれど、声が大きくな	そのあとは自然に大きくな
ぼくのからがやぶれたらんだ」と思つた。	きくなつた。お父さんが強んとお母さんつた。	と思つた。声を出すと打勝三引き分けた。	声を出されたりの練習で、お母さんつた。	二し合中、九勝三引き分けた。	と仕事で見に来られた。	「結史、すごい声が聞こえて、	と、仕事で見に来られた。	「結史、お母さん	六月、ひさしぶりの練習じ合。	にだん大好きな声が聞こえて、	それからは、道場でも自主練習のときのよ	とお父さん	「結史、最近大きい声が出て、	していくと、	やつたぞ」と思つた。	つたけれど、声が大きくな	そのあとは自然に大きくな
ぼくのからがやぶれたらんだ」と思つた。	きくなつた。お父さんが強んとお母さんつた。	と思つた。声を出すと打勝三引き分けた。	声を出されたりの練習で、お母さんつた。	二し合中、九勝三引き分けた。	と仕事で見に来られた。	「結史、すごい声が聞こえて、	と、仕事で見に来られた。	「結史、お母さん	六月、ひさしぶりの練習じ合。	にだん大好きな声が聞こえて、	それからは、道場でも自主練習のときのよ	とお父さん	「結史、最近大きい声が出て、	していくと、	やつたぞ」と思つた。	つたけれど、声が大きくな	そのあとは自然に大きくな

